

「世界では原発は行き詰まっている。エネルギーを変えると社会が変わる」  
元気が出ました！ 希望や勇気を持たせた講演でした (参加者感想)

原発ゼロ長岡市民ネット結成11周年 11・23原発再稼働を考える市民のつどいに130人!

## 原発再稼働 NO！ 再生可能エネルギーへの大転換を

講演 柏崎刈羽原発の再稼働は破滅への道  
脱原発社会に向けて私たちができること

新潟国際情報大学教授 佐々木寛 さん



右奥の講師の話に聞き入る参加者

佐々木さんは冒頭「原発ゼロ長岡市民ネットが11年間続けてきた重みは大きい」と繰り返し返された後講演に入られ、現代戦争と原発、東電の「適格性」、県の検証をめぐる課題と住民参加の大切さ、脱原発型社会にこそ希望があること等について縦横に語られました。参加者から再生可能エネルギー、避難訓練などについて質問や意見が相次ぎ、関心の高さが示されました。講演の後、会の1年間の活動の総括と今後の方針について報告し、「力をあわせて柏崎刈羽原発再稼働をストップしよう」と呼びかけました。再稼働ストップ運動と再生可能エネルギー推進運動に取組んでいきましょう。

### 【参加者の感想より】

- ◆原発再稼働は日本のエネルギーの技術開発をストップする。再生可能エネルギーこそ日本の資源を使って循環型の経済に寄与する。原発再稼働ではない方向を選択することがこの日本にとってプラスになることを、もともと自分ごととして自分に引き寄せ考えなければ。
- ◆自然エネルギーこそ原発の解決策と思いましたが。実に豊かな事例で、未来を明るくとらえられました。
- ◆自然エネルギーで脱原発（デンマークの太陽熱、太陽光パネル、垂直型ソーラー）。民主主義の確立・平和。現代戦争と原発は核兵器と同等の脅威—初めて知ることが多くてよかったです。
- ◆「原子力産業は斜陽産業」「東電の中でも、もう原発はダメだ」という声が上がっている。「世界から2周も3周も遅れている」「インパクトのあるお話でした。原発型社会が、今の社会の根っこにあるという事も自分が感じていた事と同じで、エネルギーデモクラシーは社会を変えたいと思います。
- ◆原発に替わるエネルギーについて、希望が湧いてきました。小さな単位でも出来る…視察に行ってみたいと思いました。
- ◆以前、太陽光や生ごみの再生などの見学がありました。又、計画して下さい。
- ◆新電力への切り替え手続きなど、どうすればよいか勉強したい。

### フォークシンガー たつあんの演奏を聴いて

\*デュオのコンサートも素晴らしかった！いい歌、演奏、心にしみました。つどいに伺って良かったです。  
\*巻原発反対運動は全国・世界に誇る運動です。



### 【会員継続のお願い】

12月から始まる新年度もぜひ会員を継続してください。ご一緒に力を合わせて原発ゼロに向け取り組んでいきましょう！  
更新がまだお済みでない方には納入袋か振込用紙を同封させて頂きましたのでお手続きの程よろしく願います。なお、事務局またはお近くの世話人にご連絡いただければ、対応させていただきます。

● つどいの資料を同封しました。ぜひご一読ください。

### 県は検証総括委員会を開き三つの検証を活かして！ タウンミーティングを実施し県民の意見を聴いて！

県は11月から県内4会場で「3つの検証」県民説明会を実施。参加者からは質問や意見が沢山出されましたが、県は「あくまで情報共有が目的」とし、県民の意見を生かす姿勢はありません。長岡会場で生活委員会の松井座長は、原発事故は深刻で取り返しがつかないとし「県民一人一人が自分事としてとらえてほしい」と繰り返し、原発そのものへの強い懸念をにじませました。その後、検証総括委員会の委員も務める松井座長は、総括委が県民と意見を交わすタウンミーティング開催を提案。それは、池内了検証総括委員会委員長が訴え続けていることでもあります。

1月のアオーレ前行動は、1/11(水) 16:00~16:30 です。

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第129号 2022年12月12日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707